

—市民の視点にたち、市民の声を市政に反映させ、市民に開かれた市政を実現するために—

## 第11回市民満足度アンケート調査へのご協力のお願い

＜調 査 票 A＞

市民の皆様には、平素より、市政運営に多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、市政運営の総合的かつ基本的な取組方針を定めた成田市総合計画「NARITA みらいプラン」の中に掲げた44の施策（分野別の基本的な取組方針）を対象に、「施策の実施による成果」と「施策の実現に向けて予定している事業」について、市民の皆様がどのように感じているのか、【現状の満足度、施策の重要度】をお伺いし、その結果を必要な改善に結び付けることを目的に市民満足度アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成29年5月

成田市長 小 泉 一 成

### ＜ご記入に際しての注意事項など＞

#### 1. ご記入に際してのお願い

○本調査にお答えいただくのは、満18歳以上の市民の中から無作為に選ばれた2,000人の方々です。また、お答えいただく方々の負担を考慮し、調査票をAとBの2種類に分け、それぞれを1,000人の方に送付させていただいています。

○本調査は無記名で行い、回答結果は統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆様にご迷惑をかけることは一切ありません。どうぞ思ったままをお答えください。

#### 2. ご記入上の注意事項

○宛名のご本人がお答えください。ただし、事情により、ご本人の記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにお答えになっていただいても構いません。

○お答えは、別添の「質問・回答シート」に直接ご記入ください。また、すべての質問にもれなくお答えください。

#### 3. 調査票の返送期限

○ご記入いただいた「質問・回答シート」は、同封した返信用封筒に入れ、

**5月16日（火）**までに郵便ポストに投函してください。

【本調査に関する問い合わせ先】

成田市企画政策部企画政策課

電 話：20-1500 FAX：24-1006

E-mail：kikaku@city.narita.chiba.jp



## 調査票の質問と回答について

別紙の調査票の質問は、「Ⅰ. あなたご自身のことについて」、「Ⅱ. 成田市の住みごころなどについて」、「Ⅲ. 市の基本施策に対する満足度・重要度について」という内容に大きく分かれています。Ⅲのうち、あなたにおたずねする施策は、下表に示す 22 の施策です。

### ＜おたずねする施策の一覧＞

| 分野及び<br>施策コード | 施 策                       | 該当<br>ページ |
|---------------|---------------------------|-----------|
| 1. 住環境        |                           | P 3       |
| 1-1-1         | 災害などに強いまちをつくる             | //        |
| 1-2-1         | 空港と共生する生活環境を整える           | P 4       |
| 1-3-1         | 住みやすく快適な生活環境を整える          | //        |
| 1-3-3         | ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める      | P 5       |
| 2. 保健・医療・福祉   |                           | //        |
| 2-1-1         | 子どもの健やかな成長を支援する           | //        |
| 2-2-1         | 高齢者の生きがいづくりを支援する          | P 6       |
| 2-2-3         | 障がいのある人の自立した生活を支援する       | //        |
| 2-2-5         | 社会保障制度を安定的に運用する           | P 7       |
| 2-3-2         | 地域医療体制の充実を図る              | //        |
| 3. 教育・文化      |                           | P 8       |
| 3-1-2         | 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる   | //        |
| 3-1-4         | 青少年を健全に育成する               | //        |
| 3-2-2         | 成田の地域文化や伝統を学ぶ             | P 9       |
| 3-3-1         | 国際理解を促進する                 | //        |
| 4. 空港・都市基盤    |                           | P 10      |
| 4-1-1         | 空港を生かしたまちづくりを推進する         | //        |
| 4-2-1         | 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る | P 11      |
| 4-2-3         | 大学を活用したまちづくりを推進する         | //        |
| 5. 産業振興       |                           | P 12      |
| 5-1-2         | 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する     | //        |
| 5-2-2         | 安定した農業経営を支援する             | P 13      |
| 5-3-2         | 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える    | //        |
| 6. 自治体経営      |                           | P 14      |
| 6-1-2         | コミュニティ活動を活性化する            | //        |
| 6-2-1         | 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る    | //        |
| 6-2-3         | 情報の共有化によるまちづくりを推進する       | P 15      |

④「Ⅲ. 市の基本施策に対する満足度について」の具体的な質問の構成(例)

○上部には施策の名称と、当該施策の実現に向けて成田市総合計画「NARITA みらいプラン」(2016~2027)に計上してある「4年間の取組方針」を記載しています。

○下部左側の「平成28年度の活動内容・実績」欄には、当該施策を推進するために実施した平成28年度の主な活動内容・実績が記載されています。また、下部右側の「平成29年度以降の主な事業」欄には、施策の実現に向けて実施計画に計上してある平成29年度以降<sup>注)</sup>の内容を記載しています。

○費用については、別添「施策費用一覧(実績)」もご覧ください。

○これらをもとに、「現状の満足度」と「今後のまちづくりにおける重要度」を判定していただく欄  があります。日頃お感じになっている印象を含め、各施策の取組みについて、選択肢の中からあなたご自身のお考えに最も近いものをそれぞれ一つ選び、あてはまるものに直接○をつけてください。

注) 今回のアンケート調査は平成30年度以降の実施計画の見直しに活用することを目的としています。

<質問の構成(例)>

| 1-Ⅲ-1 災害などに強いまちをつくる                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>施策の名称</b><br>防災組織の結成を促し、防災体制の確立と防災意識の高揚を図ります。また、災害や有事に際し、市民の安全確保を図るべく、社会資本の整備や公共施設をはじめとする建築物の耐震化の促進、消防設備などを含む消防力の強化など、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。<br>(主な事業) 自主防災組織整備事業、建築物耐震化促進事業、消防庁舎整備事業                                                                       |                                                                                                                                                                                                       |
| <b>【平成28年度の活動内容・実績】</b><br>■自主防災組織の育成・支援<br>・自主防災組織の数 113 組織<br>■市民等を対象とした救命講習会の実施<br>・普通・上級救命講習受講者数 2,257 人                                                                                                                                                        | <b>【平成29年度以降の主な事業】</b><br>■業務継続計画策定事業<br>・災害時に行政が優先すべき業務をあらかじめ定める「業務継続計画」を策定する。<br>■建築物耐震化促進事業<br>・非木造の戸建て住宅における耐震診断・耐震改修及びマンションの予備診断を追加する。<br>■消防庁舎整備事業<br>・三里塚消防庁舎の老朽化に伴い、防災拠点として相応しい庁舎への建て替えを行います。 |
| 平成28年度実績 9億2,894万円                                                                                                                                                                                                                                                  | 平成29年度当初予算 16億7,806万円                                                                                                                                                                                 |
| <p>◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。<br/>( 1 満足    2 やや満足    3 <input checked="" type="radio"/> どちらともいえない    4 やや不満    5 不満 )</p> <p>◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。<br/>( 1 <input checked="" type="radio"/> 重要    2 やや重要    3 どちらともいえない    4 あまり重要ではない    5 重要ではない )</p> |                                                                                                                                                                                                       |

📌 「現状の満足度」の解説

| あなたの満足度(選択肢) | 選択肢の内容                                       |
|--------------|----------------------------------------------|
| 1. 満足        | 受益者（市民や事業所）に対して十分なサービスが提供されており、現状に満足している。    |
| 2. やや満足      | 受益者に対して充分ではないがある程度のサービスが提供されており、現状にやや満足している。 |
| 3. どちらともいえない | 他のどの選択肢にも当てはまらず、満足とも不満とも感じていない。              |
| 4. やや不満      | 受益者に対するサービスがやや不足しており、現状にやや不満を抱いている。          |
| 5. 不満        | 受益者に対するサービスが明らかに不足しており、現状に不満を抱いている。          |

📌 「今後のまちづくりにおける重要度」の解説

| 施策の重要度(選択肢)  | 選択肢の内容                                              |
|--------------|-----------------------------------------------------|
| 1. 重要        | 今後のまちづくりにおいて重要な施策であり、他の施策よりも優先的に実施する必要があると思う。       |
| 2. やや重要      | 今後のまちづくりにおいてやや重要な施策であり、他の施策よりもある程度優先的に実施する必要があると思う。 |
| 3. どちらともいえない | 他のどの選択肢にも当てはまらず、重要とも重要でないともいえない。                    |
| 4. あまり重要ではない | 今後のまちづくりにおいてあまり重要ではなく、他の施策よりも優先的に実施する必要はないと思う。      |
| 5. 重要ではない    | 今後のまちづくりにおいて重要ではなく、他の施策を優先的に実施した方が良くと思う。            |

それでは、設問が多くお手数をおかけいたしますが、

「質問・回答シート」へのご記入をお願いいたします。 📌



# <質問・回答シート(調査票A)>

I. あなたご自身のことについておたずねします。

問1. あなたの性別をおたずねします。該当する番号に一つだけQをつけてください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢をおたずねします。該当する番号に一つだけQをつけてください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60歳以上  |

問3. あなたの職業をおたずねします。該当する番号に一つだけQをつけてください。

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 勤め人(会社員、公務員など) | 2. 非常勤(パートタイマー、アルバイトなど) |
| 3. 自営業            | 4. 家事専業                 |
| 5. 学生             | 6. 無職、その他               |

問4. あなたのお住まいの地区をおたずねします。該当する番号に一つだけQをつけてください。

- |         |          |         |             |
|---------|----------|---------|-------------|
| 1. 成田地区 | 2. 公津地区  | 3. 八生地区 | 4. 中郷地区     |
| 5. 久住地区 | 6. 豊住地区  | 7. 遠山地区 | 8. ニュータウン地区 |
| 9. 下総地区 | 10. 大栄地区 |         |             |

問5. あなたの成田市での居住年数をおたずねします。該当する番号に一つだけQをつけてください。

- |               |              |               |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 5年未満       | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上20年未満 |
| 4. 20年以上30年未満 | 5. 30年以上     |               |

問6. あなたを含め、現在、同居されているご家族(世帯)の構成をおたずねします。該当する番号に一つだけQをつけてください。

- |                   |            |                 |
|-------------------|------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし         | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 夫婦と未婚の子のみの世帯 |
| 4. ひとり親と未婚の子のみの世帯 | 5. 三世帯世帯   | 6. その他の世帯       |

問7. あなたを含め、現在、同居されているご家族についておたずねします。該当する番号にすべてQをつけてください。

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1. 小学校入学前の乳幼児がいる         | 2. 小・中学生、高校生がいる  |
| 3. 大学生(大学院生を含む)、専門学校生がいる | 4. 65歳以上の人がいる    |
| 5. 介護を必要とする人がある          | 6. 1～5に該当する人はいない |

Ⅱ. 成田市の住みごころなどについておたずねします。(地方創生に関する意識調査)

《全員におたずねします。》

問 1. 成田市の住みごころについて、該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- |             |             |              |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 大変満足している | 2. 概ね満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である  | 5. 非常に不満である | 6. よくわからない   |

問 2. あなたは、これからも成田市に住み続けたいと思いますか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分は住んでいたい | 3. やがては移りたい |
| 4. すぐにでも移りたい | 5. わからない     |             |

問 3. あなたは、成田市に誇りや愛着を持っていますか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. はっきりと持っている | 2. 漠然と持っている | 3. どちらともいえない |
| 4. ほとんど持っていない | 5. 全く持っていない | 6. よくわからない   |

問 4. 成田市内には、「雇用の場」が確保されていると思いますか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- |                |                |              |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 十分確保されている   | 2. ある程度確保されている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり確保されていない | 5. 全く確保されていない  | 6. よくわからない   |

《20 代から 40 代で、結婚されている方のみにおたずねします。》

問 1. あなた方ご夫婦にとって、現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は何人ですか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- |             |        |          |
|-------------|--------|----------|
| 1. 子どもは持たない | 2. 1 人 | 3. 2 人   |
| 4. 3 人      | 5. 4 人 | 6. 5 人以上 |

問 2. あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- |             |        |          |
|-------------|--------|----------|
| 1. 子どもは持たない | 2. 1 人 | 3. 2 人   |
| 4. 3 人      | 5. 4 人 | 6. 5 人以上 |

### Ⅲ. 市の基本施策に対する満足度・重要度についておたずねします。

市が各施策を推進するために実施した「主な活動内容・実績」と、これから実施を予定している「主な事業」を参考に、日頃お感じになっている印象も含めて、あなたの考えに最も近い番号に一つだけ○をつけてください。

#### 1. 住環境に関する施策

| 1-1-1 災害などに強いまちをつくる                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>自主防災組織の結成を促し、防災体制の確立と防災意識の高揚を図ります。また、災害や有事に際しての十分な備えをしておくとともに、社会資本の整備や公共施設をはじめとする建築物の耐震化の促進、消防組織体制、施設整備などを含む消防力の強化など、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>(主な事業) 自主防災組織整備事業、建築物耐震化促進事業、消防庁舎整備事業</p>                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>【平成 28 年度の活動内容・実績】</p> <p>■自主防災組織の育成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の数 113 組織</li> </ul> <p>■市民等を対象とした救命講習会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通・上級救命講習受講者数 2,257 人</li> </ul> | <p>【平成 29 年度以降の主な事業】</p> <p>■業務継続計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に行政が優先すべき業務をあらかじめ定める「業務継続計画」を策定する。</li> </ul> <p>■建築物耐震化促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非木造の戸建て住宅における耐震診断・耐震改修及びマンションの予備診断を追加する。</li> </ul> <p>■消防庁舎整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三里塚消防庁舎の老朽化に伴い、防災拠点として相応しい庁舎への建て替えを行います。</li> </ul> |
| <p>¥ 平成 28 年度決算見込み 9 億 2,894 万円</p>                                                                                                                                                                                  | <p>¥ 平成 29 年度当初予算 16 億 7,806 万円</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足    2 やや満足    3 どちらともいえない    4 やや不満    5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要    2 やや重要    3 どちらともいえない    4 あまり重要ではない    5 重要ではない )

## 1-2-1 空港と共生する生活環境を整える

空港周辺地域の生活環境を保全し、騒音地域でも安心した暮らしが保たれるよう、住宅防音工事などの航空機騒音対策を実施するほか、騒音対策の基礎となる航空機騒音及び飛行高度コースの常時監視などを行います。

（主な事業）住宅防音工事等補助事業、航空機騒音測定システム事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

## ■住宅防音工事に対する補助

- 住宅防音工事(谷間初回防音工事<sup>注)</sup>)の進捗率  
88.6%

¥ 平成 28 年度決算見込み 10 億 7,273 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

## ■騒音地域ケーブルテレビ普及促進事業

- 情報格差の是正のため、新たに視聴可能となる地域において工事費の一部補助を行う。

## ■航空機騒音測定システム事業

- 航空機騒音測定局の更新を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 10 億 8,234 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )

## 1-3-1 住みやすく快適な生活環境を整える

都市公園などの整備を進めるとともに、公園や緑地の適切な維持管理や空き家等の対策に関する施策の推進を図ります。また、景観計画を適切に運用し、本市の魅力ある景観づくりを推進します。さらには、里山や水辺環境の保全を図ります。

（主な事業）住区基幹公園整備事業、花の回廊整備事業、市営住宅維持管理事業、ふるさと川づくり事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

## ■都市公園の整備

- 市民 1 人当たりの公園の敷地面積 9.6 m<sup>2</sup>

■花の回廊<sup>注)</sup>の整備

- 昨年度に引続く区間（100m）の植樹
- これまでの整備延長 900m

■中心市街地における架空線<sup>注)</sup>の地中化

- これまでに架空線の地中化が完成した道路延長 1,690m

¥ 平成 28 年度決算見込み 6 億 1,598 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

## ■市営住宅維持管理事業

- UR 賃貸住宅を借り上げて転貸し、低額所得者の住宅を確保する。

## ■空き家等対策推進事業

- 市内の空き家等のデータベースを作成し、空き家等の対策のための計画を策定する。

## ■住区基幹公園整備事業

- ドッグランの整備を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 5 億 4,668 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )

注)「花の回廊」とは、取香川から根木名川にかけて整備が進められている、桜の名所として親しまれている散策路。

注)「架空線」とは、コンクリート柱・鉄塔などによって空中に張り渡した電線、架線のこと。

## 1-3-3 ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める

一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの適正処理と資源の再利用を進めるための各施策を実施します。さらに、施設整備に合わせて、新たな再資源化事業に取り組むとともに、適切な維持管理により、各施設の安定稼働に努めます。

(主な事業) 成田富里いずみ清掃工場維持管理事業、いずみ聖地公園拡張整備事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- ごみの削減と、資源としての利用を推進
  - ・ごみの総排出量 53,270 t
  - ・ごみのリサイクル率 12.3%

¥ 平成 28 年度決算見込み 25 億 9,820 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 成田富里いずみ清掃工場維持管理事業
  - ・一般廃棄物(可燃ごみ)を適正に処理するため、成田富里いずみ清掃工場の適切な運転維持管理を行う。また、畳や草、枝木などについては、再資源化を進める。
- いずみ聖地公園拡張整備事業
  - ・芝生墓地为望む市民の需要に応えるため、芝生墓地 509 基を整備する。

¥ 平成 29 年度当初予算 29 億 5,229 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



## 2. 保健・医療・福祉に関する施策

## 2-1-1 子どもの健やかな成長を支援する

家庭及び地域における子育て支援施策の充実を図るとともに、子育て支援に関する情報の発信を進めます。また、子どもと家庭の状況に応じた経済的支援及び相談体制の充実を図るとともに、妊娠から出産、子育て中の保護者と子どもを切れ目なく継続的に見守り、支援します。

(主な事業) 子育て支援センター管理運営事業、養育支援訪問事業、子ども医療費助成事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 地域における子育て支援を推進
  - ・ファミリー・サポート・センター<sup>注</sup>の利用件数 773 件
- 子育て家庭への支援を充実
  - ・家庭児童相談の終結割合 51.5%
  - ・1 歳 6 か月児健診・3 歳児検診の未受診者状況把握率 88.5%

¥ 平成 28 年度決算見込み 30 億 1,256 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 病児・病後児保育施設整備事業
  - ・病気または病気の回復期にある乳幼児や小学校就学児童を預かる施設に対して、整備費の補助金を交付する。
- 子育て応援サイト運営事業
  - ・子育て支援団体などが運営・企画に参加でき、イベント情報や子育てに関する情報を手軽に入手できるポータルサイトを運営する。

¥ 平成 29 年度当初予算 30 億 5,436 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



注)「ファミリー・サポート・センター」とは、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う組織のこと。

## 2-2-1 高齢者の生きがいづくりを支援する

老人クラブや高齢者サークル、シルバー人材センターなどの活動を支援することで、高齢者の地域活動、ボランティア活動などの社会活動への一層の参加を促進します。また、元気な高齢者自身も支え手となり、地域の住民同士で支え合う「互助」を推進します。

(主な事業) 高齢者教養講座開設事業、シルバー就業対策支援事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 高齢者の健康で生きがいを持った生活を支援
  - ・ 高齢者教養講座参加者数 2,335 人
  - ・ 老人クラブ加入者数 4,751 人
- 高齢者の経験を活かした就業機会の確保
  - ・ シルバー人材センター会員数 524 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 3,515 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 高齢者教養講座開設事業
  - ・ 赤坂ふれあいセンターにて各種教養講座を開催し、高齢者の健康増進や社会参加を促進する。
- シルバー就業対策支援事業
  - ・ (公社)成田市シルバー人材センターの運営費の一部を補助し、高齢者の経験を活かせる活動の場としての就業機会の確保に努める。

¥ 平成 29 年度当初予算 1 億 4,207 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )

## 2-2-3 障がいのある人の自立した生活を支援する

障がい者の生活支援サービスの提供体制の充実を図るとともに、障がい者の就労拡大に向けた支援体制の整備を進めます。

(主な事業) 障害者地域生活支援事業、障害者施設利用支援事業、障害者相談・制度利用促進事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 多様なニーズに対応したサービスの提供
  - ・ 障がい者グループホーム<sup>注)</sup>利用者数 77 人
- 障がいのある人の自立や社会参加を促進
  - ・ 障がい福祉サービス(就労支援)を利用する障がい者の民間企業などへの就職者数 10 人(2 月末時点)
  - ・ 障がい者相談件数 2,327 件

¥ 平成 28 年度決算見込み 24 億 2,687 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 障害者地域生活支援事業
  - ・ 重症心身障がい児者の介護者負担軽減のため、短期入所サービス事業者の運営費を補助する。
- 障害者施設利用支援事業
  - ・ 施設利用にかかる給付費の支給、通所にかかる交通費の助成を実施する。
- 障害者相談制度利用促進事業
  - ・ 保健福祉館内の障がい者相談センターや市内に 2 箇所ある地域活動支援センターにおいて、相談業務を実施する。

¥ 平成 29 年度当初予算 26 億 4,314 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )

注)「障害者グループホーム」とは、障がいのある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助を行うサービス形態のこと。



## 2-2-5 社会保障制度を安定的に運用する

関係機関と連携し制度の周知に努めるとともに、国民健康保険制度においては、医療費負担を削減し、安定した制度運用が図られるよう、特定健康診査の受診率向上とジェネリック医薬品<sup>注</sup>の利用を促進します。また、同制度は、平成 30 年度から広域化となることから、その動向を踏まえた対策を講じます。

(主な事業) 国民健康保険特別会計繰出金

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 国民健康保険・後期高齢者医療制度の運営
  - ・ 特定健康診査受診率 28.3%
  - ・ ジェネリック医薬品普及率 68.8%
- 国民年金制度に関する相談業務の実施
  - ・ 年金相談件数 110 件

¥ 平成 28 年度決算見込み 25 億 2,644 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 国民健康保険特別会計繰出金
  - ・ 一般会計から国民健康保険特別会計へ所要額を繰り出し、国民健康保険事業の安定的な運営に努めるとともに、平成 30 年度からの広域化を見据えた対策を講じる。

¥ 平成 29 年度当初予算 31 億 3,592 万円

◆ この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆ この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



注)「ジェネリック医薬品」とは、薬を開発したメーカーが独占的に販売できる特許期間が終わったのちに、他メーカーが同じ成分で開発・販売する薬(後発医薬品)のこと。開発にかかる期間が短いため、新薬よりも安価となる。

## 2-3-2 地域医療体制の充実を図る

国家戦略特区において、新たに開学した国際医療福祉大学医学部の附属病院の開設を支援するとともに、医師・看護師の確保や医療と介護の連携推進など、市民が安心して医療サービスを受けられる施策の推進を図ります。

(主な事業) 地域医療対策事業、医療相談ほっとライン事業、国家戦略特区推進事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 地域医療サービスと救急医療体制の充実
  - ・ 修学資金貸付制度による市内病院への看護師等就職者数 71 人(見込み)
- 医学部と附属病院の開設支援
  - ・ 平成 28 年 4 月に国際医療福祉大学の成田看護学部・成田保健医療学部が開学した。
  - ・ 平成 28 年 8 月に国際医療福祉大学医学部の新設について文部科学大臣より認可された。(平成 29 年 4 月に開学)

¥ 平成 28 年度決算見込み 30 億 7,346 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 在宅医療・介護連携推進事業
  - ・ 在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、「在宅医療・介護連携支援センター」を設置する。
- 地域医療対策事業
  - ・ 看護学生への修学資金の貸し付けや、医師確保のための負担金の支出など、地域医療を確保するための各施策を展開する。
- 国家戦略特区推進事業
  - ・ 国家戦略特区により認められた国際医療福祉大学医学部とその附属病院設置への取組みを進め、地域医療の充実を図る。

¥ 平成 29 年度当初予算 24 億 643 万円

◆ この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆ この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



## 3. 教育・文化に関する施策

## 3-1-2 学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる

心豊かで健やかな子どもを育てるため、学校の求めに応じて地域の人が参画するボランティア活動を推進し、より効果的に学校の支援を行う体制づくりを進めます。また、家庭教育支援を充実させ、家庭教育力の向上に取り組みます。

(主な事業) 学校支援地域本部事業、家庭教育学級開催事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 地域ぐるみで子供を育む体制づくりの推進
  - ・学校支援のための地域コーディネーター<sup>注</sup>数 4 人
- 家庭教育学級<sup>注</sup>の開設及び運営の支援
  - ・家庭教育学級参加者数 10,311 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 931 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 学校支援地域本部事業
  - ・地域住民が学校支援ボランティアとして学校活動をサポートする体制づくりを拡大する。
- 家庭教育学級開催事業
  - ・保育園・幼稚園や小中学校の保護者を対象に、家庭での教育力の向上を図るための家庭教育学級を開催する。

¥ 平成 29 年度当初予算 1,141 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



注)「地域コーディネーター」とは、学校支援活動を組織的に展開するため、学校とボランティア及びボランティア間の調整を担う地域の方のこと。

注)「家庭教育学級」とは、家庭における教育をより高めていくため、幼稚園や保育園、小学校や中学校を拠点とし、親同士が学習したいことを自ら企画し、計画的・継続的に活動を行っていくもの。

## 3-1-4 青少年を健全に育成する

青少年育成団体や民間団体、地域社会と連携を図り、自然体験や社会体験、ボランティア体験などの様々な機会を提供して、青少年健全育成活動の普及・啓発に取り組みます。さらに、地域の参画を得て、児童の放課後の安全・安心な居場所づくりの推進を図ります。

(主な事業) 青少年健全育成事業、放課後子ども教室推進事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 体験・交流活動の場づくり
  - ・青少年育成団体主催行事への児童生徒参加者数 2,902 人
- 児童の安全・安心な居場所づくり
  - ・放課後子ども教室参加児童数 3,150 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 2,684 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 青少年健全育成事業
  - ・青少年教育に関する団体への補助金の交付や、青少年育成団体のリーダーとなり得る人材を養成する研修会などを実施する。
- 放課後子ども教室推進事業
  - ・放課後や週末などに小学校の余裕教室などを活用し、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの取組みを実施する。

¥ 平成 29 年度当初予算 2,958 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



## 3-2-2 成田の地域文化や伝統を学ぶ

成田国際文化会館や文化芸術センターなどの文化施設の市民利用を促進するなど、文化団体や市民が活動しやすい環境を整備します。また、文化芸術に対する学習機会の拡充や伝統文化の継承、指定文化財の保存・活用を通じて、本市への理解を深め、地域文化や伝統を学ぶ機会の充実を図ります。

（主な事業）文化芸術センター管理運営事業、文化財保護啓発事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 文化芸術活動の環境づくり
  - ・市民 1 人当たりの文化施設等における年間文化芸術活動回数 3.6 回
- 成田の伝統文化の周知・啓発
  - ・史跡めぐり・歴史講演会等への参加者数 389 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 2 億 7,669 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 文化芸術センター管理運営事業
  - ・市の文化芸術活動の発展に寄与するとともに、若者などを引き寄せるシンボリックな施設として、「成田市文化芸術センター」を管理運営し、文化芸術の振興となる事業を展開する。
- 文化財保護啓発事業
  - ・文化財の啓発用資料の作成・発行を行うほか、史跡・博物館めぐり、歴史講演会などを開催する。

¥ 平成 29 年度当初予算 3 億 2,015 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）

## 3-3-1 国際理解を促進する

英語教育に関して、授業内容や指導方法の充実を図るとともに、異文化理解の機会をより多く提供します。また、外国人児童生徒に対し、学校生活・日常生活への適応を図ることができるよう支援します。

（主な事業）英語科研究開発事業、日本語教育補助員配置事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 英語によるコミュニケーション能力の育成
  - ・外国人英語講師配置校数 35 校
  - ・小中学生のアンケート「英語の学習が好きですか」で「はい」の割合 86.7%
  - ・成人式のアンケート「外国人に話しかけられたら応えてあげますか」で「はい」の割合 89.9%

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 7,512 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 英語科研究開発事業
  - ・教育課程特例校として全小中学校に英語科を設置し、中学校においても、全校を教育課程特例校として英語授業を拡充するなど、英語科教育の推進を図る。
- 日本語教育補助員配置事業
  - ・日本語教育が必要な帰国児童生徒及び外国人児童生徒に対し、日本語教育補助員を配置し、学校及び社会生活へ適応できるよう援助を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 1 億 9,526 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）

## 4. 空港・都市基盤に関する施策

## 4-1-1 空港を生かしたまちづくりを推進する

騒音地域対策の充実を図りつつ、第3 滑走路の整備など空港の機能強化に向けた取組みを進めます。また、国家戦略特区における規制緩和などの実現に向け、関係機関と協議を行うとともに、先端産業を集積するための取組みを進めます。また、補助金の交付などの開催支援により、多くのMICE<sup>注)</sup>の誘致を行うとともに、民間活力によるMICE施設の建設を推進します。

(主な事業) 国家戦略特区推進事業、産業集積推進事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- MICE 誘致・MICE 施設の建設推進
  - ・MICE 開催件数 12 件
- 空港周辺への先端産業の誘致
  - ・医療機器産業を本市に集積するための調査研究のため、有識者委員会を開催し、意見を伺った。

¥ 平成 28 年度決算見込み 29 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 産業集積推進事業
  - ・空港周辺への医療関連産業の誘致などを進めるとともに、民間活力による展示場などのMICE 施設の建設を促進する。

¥ 平成 29 年度当初予算 174 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )

注)「MICE」とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。



## 4-2-1 地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る

都市計画マスタープランを見直すとともに、土地利用の適正化について検討を行い、中心市街地などの拠点となる地域の機能強化や地域の個性あるまちづくりを推進します。

(主な事業) 都市計画策定事業、都市再生整備推進事業、表参道整備事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 秩序ある効率的なまちづくりの推進
  - ・市域全体のうち市街地内の建築物割合  
79.7% (26 年度末時点)
  - ・地区計画の決定数 12 地区
- 京成成田駅東口ポケットパークの整備
  - ・京成成田駅東口ポケットパークの完成
- 表参道整備
  - ・セットバック<sup>注)</sup>による整備件数  
延べ 92 件 整備率 85%
- 不働ケ岡地区における土地区画整理事業の促進
  - ・組合設立に向けた権利者調整
- 都市づくりの方向性を定める計画の策定
  - ・都市計画マスタープランを策定
  - ・立地適正化計画(都市機能誘導区域)を公表

¥ 平成 28 年度決算見込み 3 億 3,241 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 表参道整備事業
  - ・表参道の車道を石畳風の舗装に改修し、門前町の特徴を生かした景観の形成を図る。
- 都市再生整備推進事業
  - ・都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画や都市再生整備計画を策定する。
- (仮称)不働ケ岡土地区画整理事業
  - ・不働ケ岡地区において、中心市街地に隣接した地域にふさわしいまちづくりを進めるため、商業系と住居系の土地利用を柱とした組合施行による土地区画整理事業を促進する。

¥ 平成 29 年度当初予算 3 億 9,610 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



注)「セットバック」とは、道路の拡幅整備に伴い、道路から少し後退して建物を建てること。

## 4-2-3 大学を活用したまちづくりを推進する

大学の人材や研究成果をまちづくりに積極的に活用し、地域との結び付きを強化します。また、教育資金利子補給金を交付することにより、教育の機会均等と経済的負担の軽減を図ります。

(主な事業) 国家戦略特区推進事業、教育資金利子補給事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 大学や高等学校との連携
  - ・明治大学・成田社会人大学の受講者数  
211 人
- 大学や高等学校への就学支援
  - ・教育資金利子補給金交付件数 171 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 909 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 国家戦略特区推進事業
  - ・国際医療福祉大学との連携を図り、地域貢献に資する施策を展開する。
- 教育資金利子補給事業
  - ・大学や高等学校などに入学する者に対して、教育資金利子補給金を交付する。

¥ 平成 29 年度当初予算 954 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )





## 5. 産業振興に関する施策

## 5-1-2 魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する

観光客が快適に過ごせるような観光施設の整備を進めます。また、外国人が気軽に訪れることのできる受入れ環境を整備し、訪日外国人旅行者の「来成」を促進します。

(主な事業) さくらの山管理事業、国際観光振興事業、成田ブランド推進戦略事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 訪日外国人旅行者の成田市への訪問を促進
  - ・外国人宿泊者数 175 万人
- 空港内インフォメーションセンターでの情報発信
  - ・成田国際空港ビジット・ジャパン案内所  
利用者数 268,073 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 5,957 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- さくらの山管理事業
  - ・成田市さくらの山に整備した「空の駅 さくら館」において、本市の観光情報を発信するなど、適切かつ効果的な施設の管理運営を行う。
- 国際観光振興事業
  - ・海外でのプロモーション活動や海外雑誌への記事掲載など、訪日外国人旅行者の誘致に向けた各種 PR 施策を展開する。
- 成田ブランド推進戦略事業
  - ・国や千葉県・空港周辺自治体などと連携し、トランジットツアー<sup>注</sup>の運営やプロモーションを実施し、訪日外国人旅行者の成田市への訪問を促進する。

¥ 平成 29 年度当初予算 1 億 5,621 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足    2 やや満足    3 どちらともいえない    4 やや不満    5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要    2 やや重要    3 どちらともいえない    4 あまり重要ではない    5 重要ではない )

注)「トランジットツアー」とは、航空機の乗り継ぎ時間を利用して行われる観光のこと。

## 5-2-2 安定した農業経営を支援する

農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化を促進し、担い手農家の確保・育成と耕作放棄地の解消に向け、農業関係機関・団体が一体となった活動の推進を図ります。また、安定生産や経営の効率化、生産性の向上を目指す取組みを支援し、農産物のブランド化や畜産振興など、各分野を継続的に支援することで、魅力ある農業を実現し、農業振興を図ります。

(主な事業) 担い手育成対策事業、農地集積・集約化対策事業、農産物消費宣伝事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

## ■担い手育成対策事業

- ・担い手農家への農地集積率 39.1%  
(H29.3.31 現在)

## ■新規就農者支援事業

- ・新規就農者数 10 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 3 億 7,633 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

## ■新規就農者支援事業

- ・独立・自営就農直後の経営が不安定な時期に、所得の確保を支援することで就農後の定着を促進し、担い手となる青年就農者の確保を目指す。

## ■農地集積・集約化対策事業

- ・農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた地域や、農地の出し手に対して、貸付割合・貸付面積に応じた協力金を交付する。

¥ 平成 29 年度当初予算 3 億 7,802 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



## 5-3-2 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える

求職者に対する就業機会の拡大と就業技術の向上のために必要な知識・技術の習得支援を促進します。また、関係機関と連携を図りながら、就業情報を迅速に提供するとともに、働きたいと考えている市民が就業しやすい環境の整備とその支援を推進します。

(主な事業) 中小企業退職金共済掛金補助事業、雇用促進奨励金交付事業、労働環境向上支援事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

## ■資格取得のための講習会を開催

- ・資格取得講習会受講者の資格取得率 100%

## ■雇用に関する情報の発信

- ・求人情報システムによる雇用創出数  
18 件
- ・マザーズコーナー<sup>注</sup>利用者の就職件数  
152 件

¥ 平成 28 年度決算見込み 4,223 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

## ■雇用促進奨励金交付事業

- ・市内在住の障がい者、母子家庭の母、高齢者などを常用労働者として新たに雇用した事業主に対して、その賃金額の一部を雇用促進奨励金として交付する。

## ■勤労会館管理事業

- ・勤労者団体・事業者・労働組合などの会議研修の場として、勤労会館の貸出を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 3,416 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



注)「マザーズコーナー」とは、子育てをしながら就職を希望している人に対して、キッズコーナーの設置など子ども連れで来所しやすい環境を整備し、担当者制による職業相談、地方公共団体等との連携による保育所等の情報提供、仕事と子育ての両立がしやすい求人情報の提供などを行うコーナーのこと。



## 6. 自治体経営に関する施策

## 6-1-2 コミュニティ活動を活性化する

地域コミュニティの活性化を図るため、誰もがそれぞれの立場で参加し、様々な主体が役割を発揮できるような、地域の特性にあったコミュニティづくりの環境を整えるための支援を図ります。

(主な事業) コミュニティセンター管理運営事業、地域コミュニティ推進事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- コミュニティ活動の支援
  - ・自治組織への加入率 53.3%
- コミュニティ施設の管理運営
  - ・コミュニティセンターの利用率  
公津の杜…45.8% 三里塚…8.8%

¥ 平成 28 年度決算見込み 2 億 476 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 地域コミュニティ推進事業
  - ・区・自治会・町内会などが実施するコミュニティ活動や環境美化活動などに対して補助金を交付する。
- コミュニティセンター管理運営事業
  - ・多様なイベントや事業を通じて地域活動や住民の相互交流が活性化するよう、公津の杜コミュニティセンターと三里塚コミュニティセンターの運営管理を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 2 億 5,238 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



## 6-2-1 市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る

市民満足度調査や職員人材の確保・育成により、複雑化・多様化する市民ニーズや市民の意向の把握に努め、必要とされる行政サービスの提供につなげます。また、行政と議会との円滑な連携を図ります。

(主な事業) 総合計画策定事業、行政評価事業、職員研修事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 市民満足度を重視した行政経営
  - ・市民 2,000 人を対象に市民満足度調査を実施
- 市職員の資質向上のための研修の実施
  - ・研修に参加した職員数  
270 種類 1,473 人(延べ人数)

¥ 平成 28 年度決算見込み 9,250 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- 行政評価<sup>注)</sup>事業
  - ・成果を重視した行政運営、限られた財源の有効活用、市民への説明責任、職員の意識改革など行政運営の自立性をより向上させるため、総合計画の施策体系に基づいて行政評価を行う。
- 職員研修事業
  - ・専門的な研修機関による職場外研修への職員の参加を充実させるとともに、階層、職種ごとに必要とされる研修への参加を支援し、知識の習得や能力向上を図る。

¥ 平成 29 年度当初予算 1 億 1,129 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 )

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない )



注)「行政評価」とは、行政が実施する政策、施策及び事業について、どのような成果があったのか、当初設定した目標が着実に達成できているかなどの視点から、客観的・多角的に、評価・検証を行うもの。また、その評価結果を行政運営に反映させる手法のこと。

## 6-2-3 情報の共有化によるまちづくりを推進する

個人番号カードを含めたマイナンバー制度の活用により行政事務の効率化・高度化を図ります。また、広く情報を発信し、市民の声を集めるため、必要な情報コンテンツを最適な手段により提供できる仕組みを構築します。さらに、分かりやすい広報紙や見やすいホームページづくりなどに努め、市の情報の利用しやすさの向上を図ります。

(主な事業) 広報なりた発行事業、市長への手紙・電子メール事業、電子自治体推進事業

## 【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 市ホームページ等を活用した広報活動
  - ・年間アクセス数 512,483 件
- 市政モニター制度<sup>注)</sup>による市政に関するアンケート調査
  - ・市政モニター登録者数 614 人  
(新規登録者数 146 人)

¥ 平成 28 年度決算見込み 3 億 7,099 万円

## 【平成 29 年度以降の主な事業】

- インターネット広報事業
  - ・市のホームページの大幅リニューアルを行い、スマートフォンにも対応したホームページとする。
- 情報セキュリティ対策事業
  - ・個人情報などの情報漏えい対策として、情報セキュリティ対策の強化を図る。
- ケーブルテレビ視聴エリア拡大事業
  - ・全市普及を視野に、まずは騒音地域において、ケーブルテレビの視聴エリア拡大に向けた取り組みを進める。

¥ 平成 29 年度当初予算 5 億 6,343 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

( 1 満足    2 やや満足    3 どちらともいえない    4 やや不満    5 不満 )



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

( 1 重要    2 やや重要    3 どちらともいえない    4 あまり重要ではない    5 重要ではない )

注)「市政モニター制度」とは、登録制のアンケート制度で、モニターとして登録した方に、インターネットを活用し、パソコンやスマートフォンへ電子メールで市からアンケートや情報を発信し、回答を得るシステムのこと。

最後に、今後の市政運営について、その他にご意見・ご要望などがありましたら、どんなことでも構いませんので、以下に自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。

